

[ 様式2-1 ]

2 分野別評価

(1) 学校経営及び学校運営に関する評価

評価項目	自己評価	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 経営方針の明確化とその実践状況	3.7	<p>経営方針に向けた各種計画や具体的な方策をもとに、全教職員共通理解し、教育活動に取り組んできた。教職員の自己評価でも、「学校目標の具現化に向けて共同意識で取り組んでいる」の項目は全員が肯定的な回答であった。</p> <p>安全管理については、日直による毎日の点検、毎月の施設点検、毎日の複数名での消火点検チェックなど、協力をして行っている。</p> <p>資質向上に向けては、全教員による公開授業や研修等を行うと共に、一人一人の資質向上に向けた研修の受講や成果について面談を行った。</p> <p>コンプライアンスについては、日常のショート研修、ロング研修、講師を招聘しての研修と様々な形で具体的に自分事として捉えることができる研修を行った。</p>	<p>小規模だが、先生方は一生懸命にいろいろなことに取り組んでいる。地元としても今後とも一緒に応援していきたい。</p> <p>学校環境の美しさ、子供たちの様子、行事での頑張る姿、先生方のまなざし、どれも誠実で一生懸命で清々しい。</p> <p>地域との連携は、業務時間外のこともあり、教職員は大変かもしれないが、有意義なことなので頑張ってもらいたい。</p>	<p>健康管理や業務改善・働き方改革については教職員アンケートの値が他に比べ低い。教職員数が少ないため、一人一人の負担が多い事が原因であると考え。今後、更なる業務の見直しと精選が課題である。</p>
② 安全管理に対する取組状況	3.6			
③ 課題への組織的な対応状況	3.7			
④ 教職員の資質向上に向けた取組状況	3.8			
⑤ 教職員の健康管理への配慮	3.6			
⑥ コンプライアンス推進への取組状況	3.8			
⑦ 業務改善・働き方改革への取組状況	3.6			
⑧ その他 ( )				

(2) 教育目標及び教育計画に関する評価

評価項目	自己評価	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 学校教育目標の具現化と実践状況	3.4	<p>学校教育目標・具現化に向けて、教職員の共通理解のもと、全ての教育活動の中で計画・実施・振り返りという点で取り組んできた。</p> <p>地域との連携を柱に、年間を通して様々な活動を行い、児童の教育に生かした。学校教育目標等に地域との連携を挙げ、教育計画の中に、地域の人材や外部人材を活用した活動を位置づけ取り組んでいる。</p>	<p>学校要覧のグランドデザインに、地域を愛する子どもの育成や地域との連携について明記している。これらは県の教育計画にも沿っており大変よいと思う。</p>	<p>地域の教育力を活用した教育活動の継続・充実を図る。</p> <p>学校行事の精選・充実については、内容の見直しや充実は図ることができたが、教職員数が少なくなり、一人一人への負担が大きくなっている。今後の課題である。</p>
② ナンバーワン・スクール、ステップアップ・スクールの具現化と実践状況	3.5			
③ 創意ある教育課程の編成と実施状況	3.6			
④ 学校行事の精選・充実と成果の状況	3.6			
⑤ その他 ( )				

[ 様式2-2 ]

2 分野別評価 その2

(3) 主要な教育活動に関する評価

評価項目	自己評価	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① わかる授業の実践とその成果の状況	3.2	学力向上実行プランに基づいた具体的な方策「正確に読む・表現する・ふり返る」を全ての学習や活動で取り組んだ。粘り強く課題に取り組む姿勢が育ち、全国学力学習状況調査では、無回答が0であった。	学校の決まりを守っていると答えた児童が100%であることは素晴らしい。	学ぶことが楽しいと感じるような授業づくりに向け、研修を充実する。
② 生徒指導の取組とその成果の状況	3.6	PBSを児童会活動の中核に据え、児童が主体的に「決まりを守り、節度ある生活」ができるように取り組んだ。	いじめについての児童アンケートで、少数であるがCとDと答えた者がいる。どのような状況をいじめと捉えているのか、自分のことなのか、友達同士の様子を見てのことか、確認や指導をする必要がある。	「学校でいじめはない」の項目で、少数であるが否定的な意見の児童がいる。学校運営協議委員会からの指摘もあったように、いじめの定義などの認識の指導や確認をし、指導していく必要がある。
③ 道徳教育及び人権教育の取組とその成果の状況	3.5	差別や偏見のない学級づくり、いじめや問題行動等の未然防止に向け、道徳や人権教育を充実すると共に、毎月の児童アンケートをもとにした丁寧な生徒指導を行った。	学力向上について、小学校では学力がついたか、ということとははっきりと見えるものがない。学力学習状況調査の無回答欄が0というのはとても素晴らしいので、このような情報を、もっと保護者などにアピールすると良い。	
④ 健康・安全教育の取組とその成果の状況	3.5			
⑤ 学力向上への取組とその成果の状況	3.1			
⑥ その他 ( )				

(4) 保護者及び地域との連携等に関する評価

評価項目	自己評価	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 保護者・地域社会への情報発信及び意見収集状況	3.4	情報発信について、教職員の評価は低いですが、保護者や学校関係者からの評価は高い。今年度、学校からのお便りを配信メールにしたことで、保護者の評価が高くなった。	学校は体験学習や地域と連携した活動を積極的に行っている。地域連携の一番良い点である。少人数の学校では、コミュニケーション力の向上など、教育の効果があると思う。	地域の教育力を生かした活動の継続・充実を図る。
② 地域行事やボランティア活動への参加状況	3.9	地域の行事には、実行委員として学校の役割があり、夜間・休日を問わず参加した。		近隣校とともに取り組む行事前の話し合いなど、オンラインなどを活用した授業の回数を増やしていく。
③ PTA活動の活性化に向けた取組状況	3.3			
④ 他校や異校種間との交流連携強化への取組状況	3			
⑤ 地域の人材や外部講師の活用状況	3.7			
⑥ その他 ( )				

[ 様式2-3 ]

2 分野別評価 その3

(5) その他に関する評価

評価項目	自己評価	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 教育環境の安全管理及び整備状況	3.7	安全管理については、日直による毎日の点検、毎月の施設点検、毎日の複数名での消火点検チェックなど、教職員が協力を行って行っている。 デジタル教科書やICTを活用した授業を全学年で行っている。 支援を要する児童への理解を深め、教職員全員で共通理解すると共に、適切な指導を行って行っている。また、コーディネータを中心に家庭や関係諸機関と連携を図っている。	学校環境が整い美しい。地域の方の協力もある。 学校は安全安心な学校を目指し地域との避難訓練に取り組んでいる。	安全管理についての点検の継続と見直し。 ICT機器の効果的な活用についての研修の充実。 教職員全員での通常学級における配慮を必要とする児童の理解や協力体制の継続と充実。
② タブレット等, ICT機器の活用状況	3.2			
③ 特別支援教育の取組状況	3.7			
④ 指定研究等の取組状況 (該当校のみ)				
⑤ 工夫した部活動の実施状況 (中学校のみ)				
⑥ その他 ( )				